
Dear muscles.

忍龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dear muscles .

【Nコード】

N07760

【作者名】

忍龍

【あらすじ】

その腕につつまれて・・・

あたしの名前は、倉橋智子・・・だった

気がついた時には、おぎゃあおぎゃああと泣きながら産湯につかっていた、それが三時間くらい前・・・そして、今

「あんたあああああ!!」

あたしの前で堂々と浮気するなんざ、どういう了見だい!」

「誤解だロミエット!!」

あたしの誕生祝いということで、両親の部下の兵隊さんたちが有名な旅の楽芸団を呼んで、祝宴を開いてくれたんだけど

踊り子のお姉さんのビキニが、踊っている時に、ちょうど父の前でぼろりしてしまっ

あたしを腕に抱いたまま、剣というよりは実用性たつぷりの、なんていうの、これ・・・

あー・・・最近の記憶だと海賊映画で使われてるカッタラスっていうの・・・?

ソレと鉦の中間のようなデザインの・・・

そんな感じの刀でがんがん斬り合っているんですけど!!

「何が誤解なんだい、目をそらしもせずずっと見てたじゃないか！」

「だから誤解だ！ 俺の話を聞け！！」

「ジュリオ隊長ロミエツト副隊長つせめて夫婦喧嘩はお子さんを離してからにしてください！！」

「だめだ何時も通り聞いてねえええええ！！！」

誰か魔術師団長呼んで来いっ、10秒くらいならなんとか動き止めてもらえるから

その隙に赤ん坊を引き離せええええええええ！！！」

阿鼻叫喚ってこういうこと？！

恐ろしすぎて泣くこともできないんですけど！！！」

「だから聞け！」

あれは、お前に比べたらずいぶんと貧相な胸だな、と思って見ただけだ！！！」

「なんだ、そうだったのかい、早くお言いよ」

父の叫ぶような一言で、母の怒りは急激に冷め
事態は唐突に沈静化された

そりゃそうだろう、どこのアマゾネスだよ、というような
女性ボディビルダーのような母に比べたら、そこらの女性は皆貧相
だろう・・・

父も母に負けない屈強な身体だから、この夫婦はバランスがとれて
いると言え言えなくもない

・・・う・・・ひつく・・・こわかったよう・・・

いまさらながらに恐怖がぶり返してきて、えぐえぐ泣き始めるあた
し・・・

「おや、どうしたんだい

さっきまで大人しかつたのに、急に泣き出して」

「腹でも空いたんじゃないか？」

「そつえばそうだね、まだ一度もお乳をあげてなかったよ」

「お前が産気づいてから、すぐにやつらが出産祝いの準備を始めて
くれたしな

慌しくて、すっかり忘れていた、悪かったな」

父と母が、極力手加減してくれているであろう力加減で
ぐいんぐいんあたしの頭をなでる傍ら

彼らの部下の人たちが

いや、違います、怖かったんですってソレ！

もうちょっと手加減してあげてくださいっ頭がつくんがつくんして

ますって！！

とか、叫んでるんだけど、この夫婦の耳には一切入ってない

「待たせて悪かったね、ほら、お飲み」

ぎゃああ！　ここで胸を出さないで下さいよ！！　という部下の叫びもなんのその

母は、あたしの口につり乳首を含ませた・・・・・・・・・・が、

・・・吸・え・な・い　！

母の胸は遅し過ぎて、赤ん坊の吸引力では吸っても吸っても母乳は出なかった・・・！

恐らく殆どの赤ん坊が母乳の出を良くするために本能的にやっているだろう、小さな両手で一生懸命に彼女の胸を揉んでみたが、やはり母乳は出ない・・・！

「うーむ、吸えてないんじゃないか、おまえ」

「そうだねえあんた

赤ん坊ってのは自分でお乳も吸えないだなんて、か弱いんだねえ」

ちがう！

普通、赤ん坊・・・いや赤ちゃんは自分で吸うくらいは生まれたて

でもできるから！
できないのは寝返りとかだから！！

「自力で吸えるようになるまで、手伝ってやったらどうだ」

「そうだね、それがいい
よしよし、ほら、お母ちゃんが手伝ってやるからね、たっぷりお飲み」

母が、胸筋に力を入れて授乳を促してやると
赤ん坊であるがゆえに小さなあたしの口の中に
大量の母乳が物凄い水圧というか乳圧でブシュウ！と勢いよく噴き
出た

「じぶー！」

げえっふ！ おぶっ じぶはー！！

お、おぼれる！！

母乳で溺死する！！！！

「ぎゃあああああー！！

ロミエツト副隊長っ、赤ちゃんおぼれてます！
やばいっやばいっ」

「死ぬ死ぬ死ぬ死ぬう！！

口離してあげて下さい早くうううううううう！！！！」

果たして、あたしは成人まで生き残ることができるのだろうか・・・
薄れ行く意識のなか、あたしはそんなことを思ったのであった・・・
！

余談だが、あたしの育児に関するにあたって、
両親の部下の涙ぐましくも献身的な協力があったことが後々まで語り継がれることになる

（後書き）

カットラスは画像検索すればすぐ出てきます

剣とは違い、日本刀のように、斬る為の曲線を持ち、その威力は生々しいこと間違いなし

まだ目が見えてないんじゃないかあ・・・という発言はすいませんそつと胸の内にしまってくださいorz

ぼんやりと、くらいは見えてるんじゃないですかね、分かりませんが・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0776o/>

Dear muscles.

2010年10月9日13時42分発行